

◀ 巻末の付録USBメモリに詳細版を収録 ▶

第6部

災害復旧ネットワーク (概要版)

藤枝 俊輔、片岡 広太郎

LLS-WGでは、震災復興インターネット(PDRNET)プロジェクトを通じて得られた知見や帰宅困難者や避難者にインターネット接続を提供する際の課題をふまえて、「緊急時インターネット開放協議会」を提案し、検討を進めている。その一方で、WIDEプロジェクトは災害時の情報ネットワークの分野において、DISANETプロジェクトと活発に情報を交換している。特に、インド工科大学マドラス校(IIT Madras)やハイデラバード校(IIT Hyderabad)とは、LLS-WGにおけるシステムの開発や展開を通じて得られた知見が積極的に共有され、インドにける同分野の研究開発にフィードバックされている。IIT Madrasでは、これまでLLS-WGとして取り組んできたLifeLine Stationの設計をインドにおける防災情報システムへの要

求に適用し、システムのプロトタイプ開発を進めた。本システムは、災害時に貢献する情報サービスの設計とともに論文として発表した。また、IIT Hyderabadにおいて、Android端末で動作する被災者情報の共有システムを開発し、ポスターとして発表した[20]。

本報告書では、「緊急時インターネット開放協議会」およびIIT Hyderabadでの取り組みについて2012年度の活動内容を報告する。

IIT Madrasでの取り組みについては、論文を直接参照されたい[21]。